

令和7年11月

各位

近畿農業協同組合研究会  
代表者 北川太一

## 令和7年度第2回近畿農協研究例会(通算第281回研究会)の開催について

拝啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

近畿農業協同組合研究会は、「農協に勤める人は、現場の実情に通じているが、さらに深く考えることが足りないのではないか、逆に研究者は、理論は言うけれど、農協の実態を知らなさすぎるのではないか」、という初代代表の言葉により、JAの理論的・実践的諸問題を研究討議し、JA運動の発展に寄与することを目的に、昭和34年に設立され、JA役員と研究者が協力して運営・開催し、自由な立場で論議を重ねるところに特徴があります。

この度、標記研究会を下記のとおり開催いたします。つきましては、公務ご多忙のこととは存じますが、貴団体の関係者の出席につきご配慮を賜わりたくよろしくお願い申し上げます。

なお、貴団体の支所(店)関係者にもご連絡のうえ、多数ご出席いただければ幸いです。

敬 具

### ■ 第2回例会テーマ「総合農協のビジネスモデル改革を考える」 ■

JAグループは、第30回JA全国大会決議の基本的考え方の1つとして、「協同活動と総合事業の好循環」を重視し、「健全・強固な経営基盤の強化(経営基盤強化)」を図ろうとしております。しかしながら、その総合農協のビジネスモデル(信用事業依存型ビジネスモデル)は危機に直面しており、早急なる改革なくしては、経営基盤強化の努力は有効に機能しないと考えます。

そこで今回の例会では、総合農協のビジネスモデルの危機について理解するとともに、その改革のあり方について検討します。

1. と き 令和7年12月24日(水) 13:30～15:40

2. 開催方法 ZOOMによるリモート開催(京都JAビル地下1階)

3. も ち 方

(1) 代表者挨拶(13:30～13:35)

近畿農業協同組合研究会

代表者 北川太一

(2) 報 告(13:35～15:00)

「総合農協のビジネスモデルの危機と改革

—農協の組織・経営基盤の強化に向けた課題と取り組み—

横浜国立大学名誉教授・大妻女子大学名誉教授

田代洋一氏

(3) 質疑応答(15:10～15:40)

1) 進行

京都大学大学院 農学研究科

教 授 辻村英之氏

2) 応答

横浜国立大学名誉教授・大妻女子大学名誉教授

田代洋一氏

3) コメンテーター

滋賀県立大学名誉教授

増田佳昭氏

4. 参加費 無料

5. 申込締切日 12月22日(月)

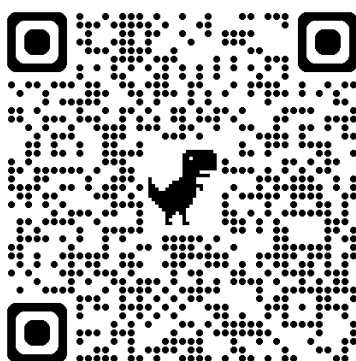
近畿農協研究会第2回研究例会へのご参加につきましては、以下のURLもしくはQRコードよりお申し込みください。

○第2回研究例会にお申し込みいただくためのURL

※URLにつきましては、近畿農協研究会ホームページに掲載しております本開催要領（PDF版）をご覧ください、URLをクリックしていただくと申込画面に移動できます。

<https://forms.gle/UnWfmxCiGDGiE3MY9>

○第2回研究例会にお申し込みいただくためのQRコード



令和7年度近畿農協研究会開催のご案内

今年度は、年間統一テーマは設けず、テーマや対象者の検討を行いながら試行的に開催する年度と位置づける。なおテーマについては、JAの喫緊な課題を捉まえ、テーマにふさわしい報告者が得られるように努める。また研究例会の試行的運営の一環として、セミナー方式で開催する。

【今年度の例会】※テーマ等は、運営委員会でその都度決定されます。

○第1回研究例会（第280回研究会）

☆ テーマ：JAの組織基盤の拡大・強化を実現するための課題と実践方策

☆ と き：令和7年9月25日（木）

☆ と ころ：リモート方式（京都JAビル地下1階会議室（京都市））

○第2回研究例会（第281回研究会）

☆ テーマ：総合農協のビジネスモデル改革を考える

☆ と き：令和7年12月24日（水）

☆ と ころ：リモート方式（京都JAビル地下1階会議室（京都市））

連絡先 近畿農業協同組合研究会

（事務局）〒601-8585 京都市南区東九条西山王町1

（一般社団法人農業開発研修センター内）

T E L : 075-748-0703

E-mail : info@kinkinouken.jp

F A X : 075-748-0855

U R L : <https://kinkinouken.jp>